

福祉の店販売促進事業【鳥取県:倉吉市】

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【福祉分野】

福祉の店は鳥取県の中部地区18の授産施設、作業所、障がいのある方の関係団体で構成されており、平成12年に設立しました。販売実績も年々、少しずつですが増加しています。昨年6月から倉吉市役所、今年度から鳥取県中部総合事務所で出張販売をしています。また、ショッピングセンターや各種イベントの時に来店しています。今回、ふるさと雇用再生特別基金事業で、障がいのある方を2名雇用し販売促進を実施していますが、まずは接客業務を経験してもらい、次のステップにつなげていただきたいと思います。



中部地区福祉の店
振興協議会
会長 八渡和仁さん

事業概要	障がいのある方の授産施設等でつくられた、食品・農産物・手芸品等を福祉の店で販売する。障がいのある方を雇用し販売促進等を行う。		倉吉市 地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率) 鳥取県 0.46倍(季節調整値) 倉吉管内 0.39倍(原数値)
委託先	中部地区福祉の店振興協議会	新たな雇用創出数 2人	
事業費	2,234千円(平成21年度)	事業の開始 平成21年4月～	

業務内容	月曜日から金曜日に福祉の店で食品・農産物・手芸品の物品の販売補助
	倉吉市役所や鳥取県中部総合事務所、ショッピングセンターや各種イベントの時の出張販売での販売の補助
	福祉の店チラシをパソコンで作成し、出張販売の時等にPR



障がいのある職員 以前の仕事と全然ちがう販売の仕事ですが、お客さんとのふれあいは楽しいです。(山下さん) これまで、営業をしてきましたが、店の販売の仕事ははじめてです。楽しみながら自分のペースで仕事をしています。お客様にも声をかけたりして接客に心がけています。(本田さん)

市役所に毎週金曜日に販売にいきますので、皆さん買ってくださーいね!

福祉の店の販売、PR担当 山下真吾さん

買っていただいたリピーターのお客様から声をかけてもらった時が嬉しいです。

福祉の店の販売、PR担当 本田経嗣さん

先輩職員からの声 今までの手書きの経理から、本田さんにはパソコン経理をしてもらい助かります。山下さんには、販売の他に清掃をしてもらい、きれいな店でお客さんから喜ばれています。お客様に接するなかでいろいろな経験をして幅広い活躍を期待しています。

今後の姿と課題 障がいのある方の就労の場をひろげていくとともに福祉の店の益々の販売促進につなげていければと思います。

中部地区福祉の店振興協議会 会長 八渡和仁さん

毎週楽しみにしています。クッキーやクレープを良く買います。地域のおばちゃんも、野菜等を買いいよく来られるそうです。

福祉の店は食品、農産物、手芸品等いろいろと品揃えをしています。おすすめは「打吹うどん」です。倉吉市のシンボル打吹山に伝わる天女伝説の羽衣をイメージに創作された、いままではなかった新しい食感のうどんです。

《 市役所で出張販売をやっています! 》

まるで天女の羽衣の食感! 鳥取県知事も大絶賛!!

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【観光分野】

待望の「環日本海定期貨客船航路」が21年6月に開設されました。この航路は境港市経済の活性化のみならず、西日本と対岸諸国の「人」「モノ」「文化」の交流を促進する「海の道」となるものです。「北東アジアに向けたゲートウエー・境港(さかいこう)」が発展するように、韓国やロシアなどからのお客様が日本に来て良かったと思われるようなおもてなしに全力を尽くしています。

境港市観光協会
黒田事務局長

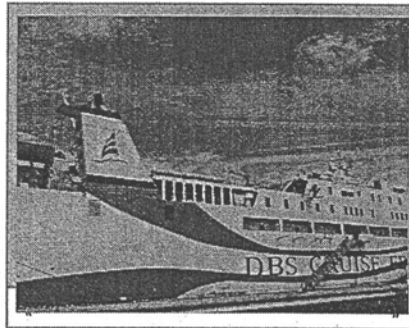
事業概要	韓国の「東海」とロシアの「ウラジオストック」と境港を結ぶ環日本海定期貨客船が発着するフェリーターミナルに観光デスクを設置。外国語対応の可能な職員を配置し、観光案内や両替を行いおもてなしの充実を図る。		
委託先	境港市観光協会	新たな雇用創出数	2人
事業費	6,358千円	事業の開始	21年6月～



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.45倍(季節調整値)
米子管内 0.41倍(原数値)

業務内容	国際観光スタッフとして、外国人来訪者に各国(ロシア、韓国など)の言葉で境港市内をはじめ、大山・中海圏域等の観光案内
	外国人観光客の両替や出入国手続きのお手伝い。フェリーターミナルを利用する旅客等への湯茶のサービス
	おもてなしの向上や航路の利用促進を図るため、接客を通じて、外国人旅行者の嗜好や旅行動向の把握



新規雇用の皆さん
境港市観光協会の国際観光案内スタッフとして外国人(ロシア人、韓国人、アメリカ人、中国人、ヨーロッパ各国の人々)の皆さんへ各国の言葉で観光案内、行き先案内を行っています。多くの外国からのお客様に心のこもった案内をしていきたいと思っています。

「外国からのお客様に心のこもった案内をしています。両替も担当しています。」
(塩谷晃司さん)



「ようこそ境港へ。各国の言葉で観光案内します。」
(景山アルピーナさん)



今後の姿と課題

この航路を利用してより多くの観光客が外国から来てもらいたいです。いろいろな言葉が飛びかい、頭の切り替えが大変ですが、おもてなしの充実に向け、国際交流の一助となれればと思い頑張っています。

境港市観光協会 塩谷晃司さん



ふるさと雇用再生特別基金事業を活用した本事業を「環日本海定期貨客船航路」の発展と、本市経済の活性化・雇用の創出につなげていきたいと思っています。

境港市産業環境部貿易観光課 浜田潤さん



事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【観光分野】

米子市は、日本のトライアスロン発祥の地であり、皆生温泉、大山、中海など温泉・自然に恵まれた地域です。こうした環境、資源を活用して、健康・スポーツをテーマとしたメニューを企画立案の上、お客様に満足いただける商品を提供したいと思っております。



米子市観光協会会長
村村 善久さん

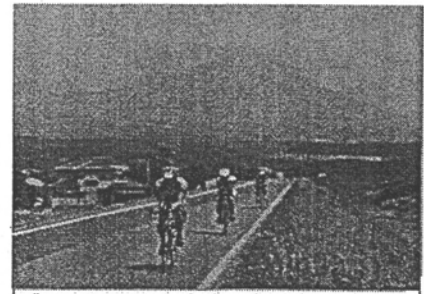
事業概要	健康・スポーツを切り口とした新しいツアーメニューの開発による観光振興を図る。	
委託先	①米子市観光協会 ②皆生温泉旅館組合	新たな雇用創出数 2人
事業費	7,500千円(平成21年度)	事業の開始 平成21年4月～



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値)
米子管内 0.46倍(原数値)

業務内容	子供たちからトップアスリートの皆様まで、広くスポーツ合宿の誘致活動を実施。宿泊先の紹介や合宿中のコース案内・トレーニングサポート
	ストレッチポール運動・ウォーキング・サイクリングなど健康増進運動と温泉の効果を活用した、健康メニュー商品を企画・実施
	各種健康メニュー商品を既存の旅行商品に組み入れていただくよう、旅行代理店への企画・提案



《トライアスロン大会 大山を背景に》

スタッフの
みなさん

皆様にご満足いただける“健康とスポーツ”をテーマとした魅力的なメニューをご提案します！



米子市観光協会ヘルスツーリズム
プロデューサー 小原 エさん

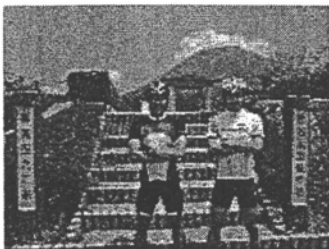
米子市は海、山、温泉などの自然環境が大変豊富です。この環境を最大限に生かした健康プログラムやスポーツをテーマとしたメニューを作り出すことによって、多くのお客様にお越しいただきたいと思っています。米子の良さを体感していただき、健康増進やスポーツの競技力向上にお役に立てるよう頑張ります！



皆生温泉旅館組合ツアー
コーディネーター 平野 哲さん

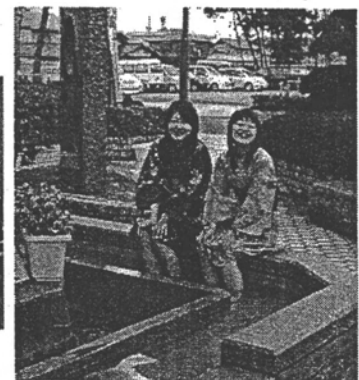
メニューの
一例

大手代理店のツアーにも健康メニューを取入れていただきました。



トライアスロン日本・
中国地区代表選手
5名が合宿で利用さ
れました。

健康増進のための
ストレッチポール運
動です。



運動の後は、“海に湯が沸く
米子の皆生”温泉でさっぱり
汗を流して、心もリフレッシュ
してください！

今後の
取組み

事業を通じて、この地域を「健康」「スポーツ」「温泉」などをキーワードにしたイメージづくりを行ない、米子・皆生が心身のリフレッシュ・アスリートトレーニングのメッカになるよう目指していきます。
【米子市経済部観光課 課長 永江 浩庸さん】

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業

【教育・文化分野】

宮島細工の伝統工芸士は彫刻とロクロで各2名まで減少しており、技術の断絶が危惧されています。伝統産業の担い手を育成すると同時に、後継者が安定した生活ができるよう、新たな土産物を開発し、安定した雇用と技能継承の仕組みを構築したいと考えています。



宮島細工協同組合理事長
広川和男さん

事業概要

宮島細工を活用した、新たな土産物の開発、宣伝、販路開拓を行い、新しい宮島ブランドを作ることで伝統産業の後継者の育成及び観光振興を図る。

委託先

宮島細工協同組合
(広島県廿日市市宮島町)
組合員数12人

新たな
雇用創出数

4人 宮島細工の後継者(3名)
事業コーディネーター(1名)



広島県

事業費

約988万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年5月

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

広島県0.54倍(季節調整値)
廿日市管内0.19倍(原数値)

業務内容

古くから宮島にある伝統工芸「宮島細工」を活用した、新しい土産物の開発、宣伝、販路開拓を行い、新しい宮島ブランドを作ることで、伝統産業の後継者育成、宮島観光の振興に繋げる。



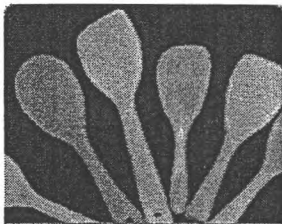
厳島神社の大鳥居



素地を活かした、繊細で写実的な装飾彫刻が特徴

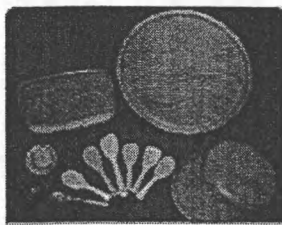
事業の背景と
ねらい

杓子を始めとして、彫刻、ロクロ、刳物などの木製品を制作する「宮島細工」の伝統工芸士が各2名となり、技術の断絶が危惧されている。



宮島の杓子「みやじまさん」

宮島への観光客はH20で343万人と急増しているが、島内で製作された土産物品は少なく、一人当たりの観光消費額が増加していない。



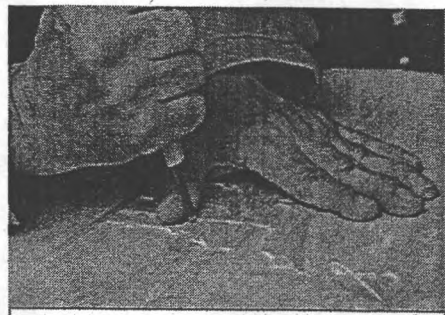
ロクロ細工 宮島彫り 杓子

「宮島細工」の後継者を3名雇用し、技術指導を行い、伝統工芸の後継者として育成するとともに、新しい土産物品の開発を行う。

事業コーディネーターを1名雇用し、新たな販路を開拓するとともに、インターネットを活用した情報発信を行い、宮島細工の今後の方向づけを行う。

宮島細工職人の声

1日を通して宮島彫りの仕事ができるようになり、大変嬉しい。今後も地道に継続していきたいと思ひます。



宮島彫り 木肌ニノミの刃を当てている様子

今後の姿と課題

新たな土産物の素材として、宮島の地域資源を活用できないかと模索しています。

廿日市市商工労政課 大年 勇樹さん

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【観光分野】

事業概要

愛媛県立とべ動物園に、利用無料の案内ガイドを配置し、動物園の魅力を高め、利用者をさらに増加させようとする事業です。
展示動物の案内を通して、命の大切さや環境学習、人と動物の関係について理解を深めることができる魅力ある動物園を目指します。

愛媛県



委託先

財団法人 愛媛県動物園協会
(愛媛県立とべ動物園指定管理者)
職員53人

新たな
雇用創出数

3人

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

平成21年6月
愛媛県 0.53倍(季節調整値)
松山管内 0.46倍(原数値)

事業費

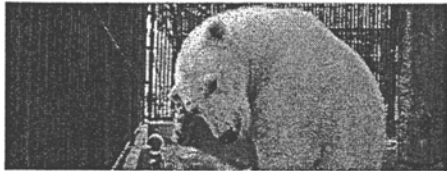
約1,420万円(平成21年度)

事業開始

平成21年4月～

業務内容

平成21年6月から、ふるさと雇用再生特別基金事業として、新たに案内ガイド(3名)を雇用。案内ガイドは、動物や施設に関する疑問や質問にお答えしたり、積極的に話しかけたりしながら、来園者一人ひとりの“出会い”“ふれあい”を大切にしています。



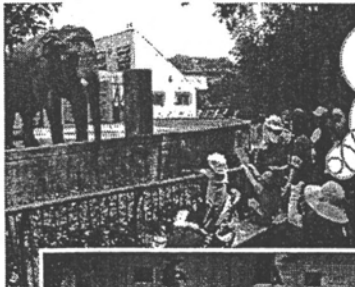
○園内は、地理学的配列を中心に10のゾーンに分かれています。ゾーンごとに動物を見ていくと、約130種1000点の世界中の動物に会えます。

○各ゾーンに観察のポイントを記した案内板や学習のための解説パネルなどを設置し、わかりやすく楽しく観ることができるように工夫してきました。

TOBE ZOO 愛媛県立とべ動物園

<http://www.tobezoo.com/>

案内ガイド様子



私たちは、まだまだ勉強中ですが、来園者の皆さんの疑問・質問にお応えする仕事をしています。「案内係」の腕章が目印です。たくさんのお客さんと話すことができ、毎日楽しく仕事をしています。

来園者の声から



ガイドさんが、わかりやすく動物の話をしてくれたので、動物がさらに好きになりました。



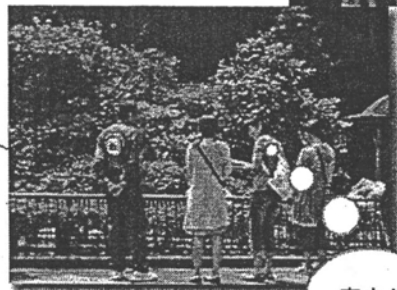
どんなことでも構いませんので、私たちに気軽に声をかけて下さいね。

展示方法が工夫されているし、ガイドさんが熱心ですね。



園長よりメッセージ

動物園は、動物と人との出会い、ふれあいの場ですが、人と人との出会い、ふれあいを通して、「なぜ?」「どうして?」「なるほど!」「そうなんだ!」という「驚き」と「発見」と「感動」の場でもあります。私は、案内ガイドさんに、そのきっかけづくりをしてもらいたいと思っています。
皆さん、今後とも、当園をよろしくお願ひします。スタッフ一同、ご来園を心よりお待ちしております。



案内ガイドさんから話しかけてくれたので、気軽に質問できたし、会話も弾み、楽しい時間を過ごせました。

あったかふれあいセンター事業

【高知県】

(フレキシブル支援センター事業)

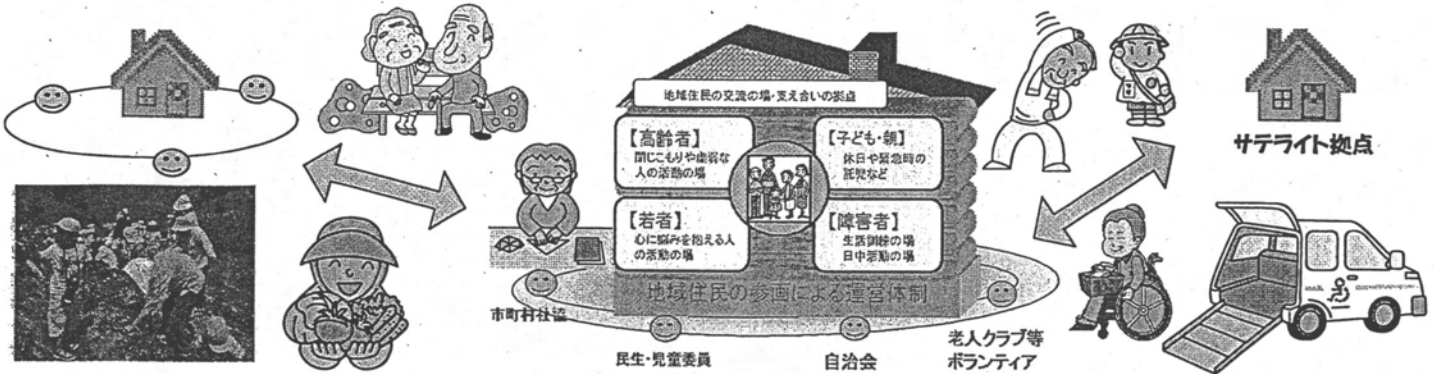
事例紹介

ふるさと雇用再生特別基金事業
[介護・福祉分野]

高知県では、ふるさと雇用再生特別交付金の事例として示された「フレキシブル支援センター」を「あったかふれあいセンター」として事業化し、市町村での設置を促進しています。

本県の実情に即した小規模・多機能なサービスをこのセンターで提供します。

わたしたちの「あったかふれあいセンター」 ～みんなで支えあう新しいカタチ in 香南市～



事業内容

デイサービス事業所を拠点とし、あったかふれあいセンターを併設し、高齢者、児童、障害者等誰もが集い交流を深め、生活支援を行う場を提供する。また、平成22年度より各地区でのサテライト型のあったかふれあい事業を行います。

(H21:香我美地区、H22～:野市、夜須、吉川の3地区でも実施・合計4地区)

委託先

香南市社会福祉協議会

事業費

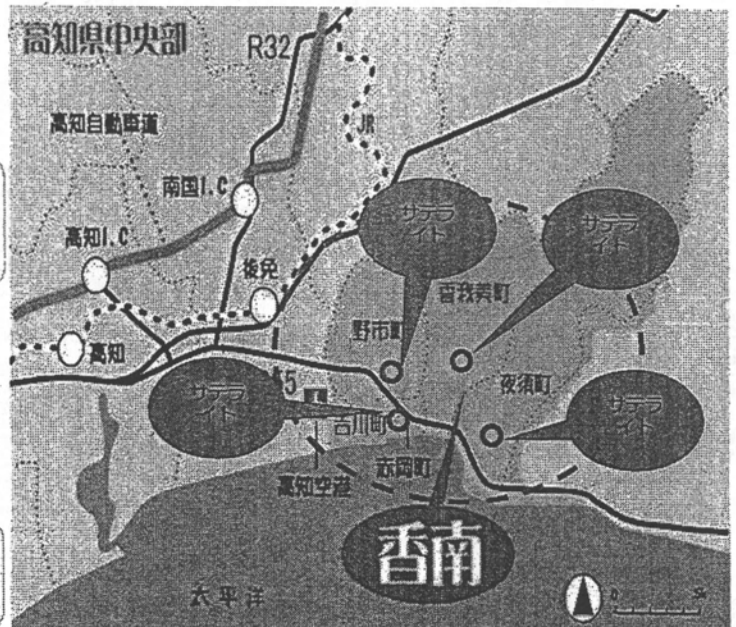
約682万円 (H21)
総事業費 約4千万円
(H21～H23)

新規雇用者数

2名 (H21)
4名 (H22～)

事業実施

香我美地区 平成21年6月～
其他地区 平成22年度から



提供サービス

①【デイサービス機能】

高齢者や障害者、児童等の誰もが集い、介護予防教室の開催や創作活動の実施等、交流できる場を提供します。

②【サテライト機能】

香南市内の4箇所でそれぞれの地域ニーズに即したサービスの提供を行います。

③【移動支援機能】

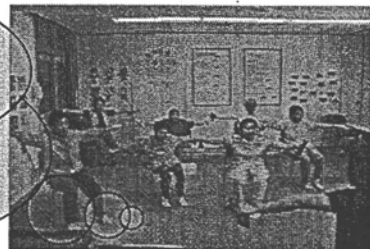
移動手段が困難な利用者へ買い物や送迎を行うことにより、高齢者の自立と生活の質を高めます。

④【地域との交流機能】

高齢者と地域の子もたちが自然環境の中で種まきから収穫まで畑仕事を通して、互いに親しみ、楽しむ交流の場をつくりまします。

利用者の声

- ・家にも、テレビを見て、座っているだけなので、ここへきているんな人と話ができることがうれしい。
- ・体操をしたら、肩が凝らなくなって、夜もぐっすり寝れる。
- ・創作(折紙・ちぎり絵)をこの歳になってするのは思わなかったが楽しい。レクリエーションのゲームも楽しい。
- ・ここで、お昼みんなと一緒にごはんを食べると美味しい。



スタッフの声



- ・1人暮らしの高齢者の方は、人と話すことを喜び、楽しんでくれます。また、介護予防にも繋がっていると思います。
- ・地域のボランティアさんが、こんなに積極的に入ってきてくれることに驚き、名前のおりあつたかいふれあいを感じています。
- ・利用者の男性は少なく、無口ですが、だんだんと慣れ、周りの人に気遣ったり、会話もするようになってきました。

あつたかふれあいセンターの現状と課題

現在、このあつたかふれあいセンターには、地域の高齢者・障害者・そして、地域のボランティアさんや、幼稚園の園児、民生委員さん等だれでもが集える場所として、一緒に農作物を育てたり、収穫したり、また筋力体操・レクリエーション等で高齢者から子どもまで互いに楽しく交流し、そして介護予防にも繋がり、利用者には大変好評です。今は1地区で実施していますが、来年度はサテライト型で他の地区でも実施したいと思います。

これからも地域のたくさんの方に知ってもらい、地域住民やボランティアなどを巻き込んだ事業を進めていきたいと思っています。

今後は、地域住民の協力や地域のニーズへの対応などを踏まえた、事業の継続的な実施が課題と考えています。